

NEWS CLIP & AV MATERIAL

● ニュースクリップ&映像教材



■文部科学省・インターネット活用教育実践コンクール実行委員会
主催「第10回インターネット活用教育実践コンクール」入賞決定
標記コンクールの入賞先が2月15日開催の審査委員会を経て、
決定した。内閣総理大臣賞には、社会教育部門の「オバケーション」
特定非営利活動法人クリエイティブスマイル（東京都）が決定した。

他の入賞等詳細は、12ページを参照。

NEWS CLIP

協会情報

■平成21年度文部科学省委託事業先導的教育
情報化推進プログラム「デジタル指導案を用いた
ICT機器の活用に資する調査研究」成果報告会

（財）日本視聴覚教育協会では、デジタル指導案
を用いたICT機器の効果的な活用に関する調査研
究の成果報告会を下記の通り開催する。

〈日時〉平成22年3月14日（日）13:00～15:
30（受付開始は、12:30から）

〈場所〉（株）内田洋行新川オフィスB1 ユビキタ
ス協創広場CANVAS（東京都中央区新川2-4-7）

〈対象〉小・中・高等学校・大学教職員、教育委
員会、放送局、視聴覚機器提供企業等。定員90名。
定員になり次第締め切りとなるため、参加希望の
方は〈問い合わせ〉を。

〈内容〉調査研究の目的と概要 調査研究委員
長 井口磯夫氏（十文字学園女子大学教授）、調
査研究成果報告 同副委員長 堀田博史氏（園田
学園女子大学教授）、「指導案DBの紹介と活用方
法／可搬式ユニットの紹介」、実践事例報告「一

教科活用モデルの紹介と実践、その効果について
— 宮城県栗原市立大岡小学校／東京都足立区立
花畑第一小学校／愛知県岡崎市立羽根小学校／名
古屋市立森孝東小学校／大阪市立東都島小学校／
愛知県岡崎市立甲山中学校等

〈問い合わせ〉（財）日本視聴覚教育協会
TEL 03-3591-2186

AV情報

■平成22年度東京国立近代美術館インターン
シップ募集案内

東京国立近代美術館では、大学院又は大学等に
在学する学生等で近現代美術、工芸・デザインお
よび映画の研究を志望し、美術館の活動と学芸業
務に関心を持つ方を対象に、インターン（研修員）
を募集する。本制度は、東京国立近代美術館の学
芸業務を実地に体験することで、研究上の専門知
識を深めるとともに、明確な職業意識と勤労観を
育て、今後の美術館活動を担う人材の育成に寄与
することを目的としている。

〈募集分野〉 以下A～Fの6つの分野において、若干名。

○美術館 A学芸(コレクション①近現代美術(絵画・彫刻・版画・水彩・素描))(コレクション②写真) B学芸(企画展) C美術館教育 D図書資料

○工芸館 E学芸全般

○フィルムセンター F学芸全般

〈受入期間〉 平成22年5月1日～平成23年3月31日の間。分野により期間、日数などは異なる。

〈募集期間〉 平成21年12月1日(火)～平成22年3月5日(金)必着。

〈応募書類の提出先等〉 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1 東京国立近代美術館 研修担当(封筒の表に「インターン応募」と朱書きし、必ず簡易書留又は配達証明郵便等で送付のこと) 応募書類は下記を参照のこと。

<http://www.momat.go.jp/Honkan/intern2010.html>

〈問い合わせ先〉 TEL 03-3214-2591(直通)

平日10:00～17:00

Mail kensyu@momat.go.jp

■ アースビジョン第18回地球環境映像祭

(財)地球・人間環境フォーラムでは、世界の環境映像と出会う場として、標記映像祭を開催する。

〈日時〉 平成22年3月5日(金)～7日(日) 時間は各日による。

〈会場〉 四谷区民ホール(東京都新宿区内藤町87四谷区民センター9F)

〈内容〉 アース・ビジョン大賞およびアース・ビジョン賞受賞作品等の上映。「雨の物語—大台ヶ原 日本一の大雨を撮る」(日本)「おじいさんの古代米—雲南の小さな村から」(中国)「里山っ子たち」(日本)他。詳細は下記を参照のこと。

<http://www.earth-vision.jp/14-03mainfestival09-j.htm>

〈参加〉 協力費1日1,000円。高校生以下無料・事前予約不要。3日間通し協力費(カタログ付き)一般2,000円、学生1,500円。

〈問い合わせ先〉 (財)地球・人間環境フォーラム内アース・ビジョン組織委員会

TEL 03-5802-0525

■ 記録映画アーカイブ・プロジェクト第3回ワークショップ「おかあさんの民主主義—岩波映画に見る昭和30年代のくらし—」

東京大学大学院情報学環(記録映画アーカイブ・プロジェクト)主催により、標記ワークショップが開催される。

〈日時〉 平成22年3月14日(日)13:30-18:00(開場は13:00)

〈場所〉 東京大学本郷キャンパス福武ホール(東京都文京区本郷7-3-1)

〈内容〉 岩波映画上映と岩波映画OBによる討議羽田澄子氏(記録映画監督・岩波OB)、時枝俊江氏(記録映画監督・岩波OB)、斉藤綾子氏(明治学院大学教授)、吉見俊哉氏(東京大学教授)等。入場無料・HPにて事前登録制。

〈問い合わせ先〉 記録映画保存センター

TEL 03-3222-4249

MAIL center_otoiawase@kirokueiga-hozon.jp

コンクール情報

■ 第13回広島国際アニメーションフェスティバル作品募集

アニメーション芸術文化の発展に寄与することを目的に、広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、広島市、広島文化財団主催による標記フェスティバルが平成22年8月7日～11日に、広島市にて開催される。

開催に先立ち、フェスティバルへの参加作品を募集している。

〈募集期間〉 平成22年2月1日(月)～4月1日(木)

〈応募作品の条件〉 1コマずつ作られた作品であること。ただし、コンピュータによる作品を含む。フィルムまたはビデオテープによる作品であること。上映時間が30分以内であること。平成20年4月1日以後に完成された作品であること。他のフェスティバルにおいて、受賞した作品であっても、このフェスティバルに応募することができる。この場合、受賞記録をすべて出品申込書に明記しなければならない。他、申し込みの詳細は、こちらを参照のこと。<http://hiroanim.org/>

〈本審査・賞〉 平成22年8月7日～11日の期間で行い、グランプリ賞1(賞金100万円)、ヒロシマ賞1(賞金100万円)、デビュー賞1(賞金50万円)、木下蓮三賞1(賞金30万円)他を決定する。

〈問い合わせ先〉 広島国際アニメーションフェスティバル事務局 〒730-0812 広島県広島市中区加古町4-17 TEL082-245-0245

各地の情報

■「第21回兵庫県丹波篠山ビデオ大賞」発表

丹波篠山ビデオ大賞実行委員会、篠山市、篠山市教育委員会主催による標記コンテストは、アマチュアビデオコンテストとして、21回を数える。全国の応募から、下記のように受賞が決定した。
 〈グランプリ部門〉ビデオ大賞「自書伝—あいスマイル編—」、兵庫県知事賞「やっかい物 見直したい—丹波篠山・竹取物語—」、篠山市長賞「ポッカ人生」他。
 〈デビュー部門〉優秀賞「リサイクル戦隊R3

アキカン村は大ピンチ」「西紀中学校 文化祭メイキング映像」「夏休み大集合」他。なお、入賞作品は<http://edu.city.sasayama.hyogo.jp/video/index.html>にて、視聴できる。

〈問い合わせ先〉丹波篠山ビデオ大賞実行委員会事務局TEL 079-590-1301

訃報

■映画評論家、元日本視聴覚教育協会理事の登川尚佐(直樹)氏が、平成22年2月5日ご逝去された。享年92歳。

AV MATERIAL

文部科学省選定作品

■1月選定 〔紙しばい〕/〔ビデオ〕/〔DVD〕
 「子どもどうぶつ劇場④『カッコウの托卵』『キツネ親子は河原暮らし』」〔D〕28分
 「子どもどうぶつ劇場⑤『海の楽園サンゴ礁』『アオリイカ』」〔D〕30分
 「子どもどうぶつ劇場⑥『イノシシ』『ニホンジカ』」〔D〕28分
 〈少年／教養・情操（自然科学）〉(株)群像舎
 「毎日が火の用心—高齢者施設の防火管理—」〔E〕20分 〈成人／地域社会生活（災害予防・対策）〉(株)映学社

エル・ネット

各機関で行われているさまざまな取組みを視聴できます。今月の主な新着コンテンツは、下記の通り (<http://www.elnet.go.jp>)。

主なコンテンツの紹介

〈1ch 文部科学省から〉

財団法人日本民間放送教育協会の企画した『発見！人間力』から。

①「園児1300人！園長のわんぱく物語」

神奈川県川崎市にある「柿の実幼稚園」には1300人の園児が通い、160人以上の先生と職員がいる。保護者たちは、小島園長を「一生懸命楽しんで生きている人」と評する。そんな園長が5年前に脳梗塞で倒れた。園児、保護者、先生たちの励ましを受けて、1週間で園に戻り、日課である園児たち全員との握手を再開。それがリハビリとなり回復。人を惹きつけてやまない小島園長、その人間力に迫る。

②「妖怪 狩野じいとレガッタ」

静岡県沼津市の加藤さんは、レガッタに夢中。毎朝3時半に起き、狩野川で早朝練習に励んでいる。ボート部の現役高校生にも勝負を挑むため“妖怪 狩野じい”と呼ばれ、一目置かれる存在に。「最後まであきらめない」をモットーに、何事にも真剣に取り組み、笑顔を絶やさない加藤さん、家族や仲間まで幸せな気分させてくれる不思議な魅力溢れる人なのだ。

放送番組

中学生日記

(土) 19:15~19:45 / NHK教育

翌週(土) 12:30~13:00 / 再放送 NHK教育
 中部7県は翌週(日)11:00~11:30 / 再放送 NHK総合
 ※都合により番組内容が変更となる場合があります。

■6日 「月を歩く少女」

■13日 「サヨナラバッテリー」

■20日 中学生日記プレーバック「番組未定」

■27日 春の特集編成のため休止